

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)株式会社 テクノール サイエンスパーク京都

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q1 建築物の環境品質									3.1
Q1-1 室内環境			0.34						2.9
1 音環境		3.2	0.15						3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-						
1.3 吸音	壁:グラスウール、床:カーペットを使用	4.0	0.20						
2 温熱環境		2.0	0.35						2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能		3.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		1.0	0.30						
3 光・視環境		3.1	0.25						3.1
3.1 屋光利用		3.6	0.30						
1 屋光率	2階事務スペースの屋光率を2以上としている。	4.0	0.60						
2 方位別開口		-	-						
3 屋光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 屋光制御		3.0	1.00						
3.3 照度		3.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	0.25						
4 空気質環境		3.8	0.25						3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50						
1 化学汚染物質	内部仕上り材料は告示対象外もしくはF☆☆☆☆適合品を採用	5.0	1.00						
4.2 換気		1.6	0.30						
1 換気量		1.0	0.33						
2 自然換気性能		1.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御	館内禁煙とする	5.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30						3.2
1 機能性		2.9	0.40						2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33						
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30						
1 広さ感・景観		3.0	0.33						
2 リフレッシュスペース	十分な広さの休憩ラウンジを設置	4.0	0.33						
3 内装計画		1.0	0.33						
1.3 維持管理		3.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30						3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	保有水平耐力比Qu/Qun=1.83	5.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクト:ガルバニウム鋼板	4.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		2.4	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20						
3 電気設備		1.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.1	0.30				3.1
3.1 空間のゆとり			4.5	0.30				
1 階高のゆとり		階高平均高さ3.975とする	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ		事務スペースの動かせない壁の量を抑えた計画とする	4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			2.2	0.40				
1 空調配管の更新性			1.0	0.20				
2 給排水管の更新性			1.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20				
GS 数地外環境(敷地内)			3.0	0.30				3.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観に配慮した外観とし、敷地の緑化に配慮する	4.0	0.40				4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30				2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.2
LR1 自然エネルギー			3.0	0.40				2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		屋根には硬質ウレタンフォーム、外壁はグラスウール厚100を採用	5.0	0.09				5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光発電設備の設置	5.0	0.11				5.0
3 設備システムの高効率化		BEQ(BEEm) = 1.00	2.0	0.57				2.0
4 効率的運用			3.0	0.23				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
LR2 資源・エネルギー			3.4	0.30				3.3
1 水資源確保			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		節水器具を採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60				3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.13				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.25				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生アスファルト混合物、ビニル系床材、タイル	5.0	0.25				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.13				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20				3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ビニル床、壁紙接着剤、塗料に有害物質を含まない	4.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1 消火剤			-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50				
3 冷媒			3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			5.0	0.30				5.0
1 地球温暖化への配慮		建築の断熱性能への考慮を行った	5.0	0.33				5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33				3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		従業員・搬送用トラック及び来客者用の十分な駐車スペースを確保	5.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音			3.0	1.00				
2 振動			-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制			-	-				
3 日照障害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70				
2 蛍光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				